

# みやぎ

市議会だより

第86号  
2017

2.6

成人おめでとう

平成28年12月定例会

12月補正予算 地域振興拠点の計画策定 p.2~3

常任委員会報告 視察報告 p.8~9

一般質問 11人の議員が市政を問う p.10~13

〈特集〉議員がおじゃましました！ 由良オリーブを育てる会 p.14~15

1月8日  
成人式

# 具体化に一步前進

約400㎡を活用 計画策定に300万円



## 12月定例会の運び

12月定例会を12月1日から26日までの26日間開催しました。  
平成28年度一般会計補正予算などの議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。また、意見書1件を可決し、政府に提出しました。

一般質問は8、9日の2日間11人の議員が行いました。今定例会の傍聴者は延べ73人でした。また、定例会最終日終了後、所管別常任委員会の視察報告会を行いました。他自治体にて視察研修した内容を毎年報告しています。

### 予算決算委員会

#### 委員間討議

浜町にぎわいづくり推進事業

○まちづくり会議で長い時間をかけて議論され、パートナーを選ばれた。今回は、事業計画を策定するための予算であり、次に出てくる事業計画でしっかりと審査すべきである。  
○長い間討議されてきたにもかかわらず、提案された予算を審査する時間が短すぎる。  
○大型商業施設との関係を注視していきたい。

### 総務文教分科会

浜町にぎわいづくり推進事業に 300万円

地域振興拠点の具現化へ向け、施設コンセプト・デザインの構築や事業戦略・事業計画策定などの取組への支援を行う費用。

**Q** ※パイロット事業による周辺地域への波及効果は？

**A** まずは、整備されるパイロット事業施設の事業採算性を見るのが重要と考える。成功事例を見せることで、中心市街地の空き店舗を使

った新規店舗開設などの賑わいの創出に波及することを期待している。市としても本事業により生み出される浜町の賑わいが、将来的に市域全体に波及するよう取り組みたい。

※パイロット事業とは？  
試験的に実施する事業のこと

**Q** 事業責任の所在は？

**A** 事業主体となる宮津商工会議所には金銭的な負担のみならず事業を成功させる責任があり、事業費を借り入れる事業パートナーの※ハマカゼプロジェクト株式会社が、補助金を交

付する宮津市の3者がそれぞれリスクを負って事業に取り組むものである。

今後、市議会です業計画とも照らし合わせ新年度予算審査を行っていただくとともに、宮津商工会

議所から提出される実績報告に基づき、決算審査をお願いしたい。  
※ハマカゼプロジェクト株式会社  
平成28年12月5日設立  
代表取締役 坂本亮氏

## 主な補正予算 補正総額 7,791万円

<b>&lt;一般会計&gt;</b>	
人・農地プラン策定等事業	162万円
元気な里づくり推進事業	660万円
臨時福祉給付金支給事業	5,850万円
宮津与謝消防組合分担金	303万円
<b>&lt;追加補正&gt;</b>	
浜町にぎわいづくり推進事業	300万円
公共土木施設災害復旧事業	283万円
人件費等	961万円

平成28年度  
12月補正予算

# 地域振興拠点の

## 宮津まごころ市の国道側

産業建設福祉分科会

臨時福祉給付金の支給に  
5850万円

低所得者に対し消費税5%から8%への引き上げによる影響を緩和するための暫定的、臨時的措置として一人1万5千円を支給するもの。

Q 対象者は何人か？

A 平成27年度の同給付金で3383人の申請があり、約3500人を見込んでいる。

農地集積への協力金を支給  
105万円

耕作放棄地等の増加を防止するため農地中間管理機構を通じた貸し手と担い手に支援するもの。地域への支援として大島、外垣、岩ヶ鼻地区に、個人に対する

支援として養老2名、日置1名に支給する。

Q 中間管理機構に預けると協力金が出るのか？

A 農地所有者は利用権を農地中間管理機構に移行し、機構は担い手に権利を移す。担い手まで移すことで事業が成立し協力金が出る。

地域会議の特産品開発等の支援に  
660万円

上宮津地域会議の休耕田を活用したホーンモロコシ養殖栽培の事業等に国の交付金を、養老地域会議の農産加工センターの改修等に府の補助金を活用するもの。

Q 国の過疎地域等自立活性化推進交付金を活用した事業は補助率が10分の10だが、このような事業をすべての地域会議

に知らせているのか？

A 全地域会議には投げかけてはいないが、地域が支援を受けたいとなれば、この制度を活用していく。

委員間討議

補助金制度を全地域会議に情報提供するのを強く願う。

災害復旧に

283万円

台風16号による大雨等で被災した市道山中線の復旧経費。

Q 自治会や農業関係者と十分協議し復旧するべきだが？

A 十分協議し早急に進めていく。

討論

議第105号

H28一般会計補正予算

**賛成**  
日本共産党  
福井康喜議員  
浜町にぎわいづくり推進事業はまごころ市とともに浜町振興の拠点にふさわしいものとなることを期待する。

議第97号

農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定

**反対**  
日本共産党  
宇都宮綾議員  
儲かる農業だけが生き残る。そのような政府の狙う企業参入を促すことになりかねず、農業委員会制度を弱体化させるのではないかと懸念する。

議第93号

京都地方税機構規約の変更

**反対**  
日本共産党  
長林三代議員  
この規約変更は、課税自主権を侵害していく。住民自治の立場からはふさわしくないものとなっている。地方自治体の権限がなくなることが予想される。

条例関係

総務文教委員会

京都府地方税  
機構規約の変更

京都府地方税機構が処理する共同化業務に、平成29年度から自動車関係税の申告書の受付等の業務を追加するもの。

**Q** 業務が追加されることで府からの出向職員が増えるとのことだが、それに伴い市の負担金に影響はあるのか？

**A** 追加業務に係る平成29年度の金額は9万9000円であり、職員増の分もその中に含まれる。

市営駐車場  
条例の一部改正

道路交通法の一部改正により、自動車の種類として、新たに準中型自動車が増え

えられたことに伴い、準中型自動車に係る駐車場の区分及び駐車料金を定めるもの。

市税条例の一部  
改正、国民健康  
保険条例の一部  
改正

日本と台湾間の「所得に対する二重課税」を回避し、健全な投資・経済交流を促進するため、外国居住者等所得相互免除法の一部改正されたことに伴い、所要の改正を行うもの。

市内に該当者はいない。

産業建設福祉委員会

農業委員、農地  
利用最適化推進  
委員の定数を定  
める条例

農業協同組合法の一部改正により、農地の集積、耕作放棄

地の解消等を農業委員会の必須事務に位置付け、農業委員の選出を公選制から議会の同意を要件とする任命制に、委員数は現在の23名から14名にするもの。新たに設置される農地利用最適化推進委員は10名とするもの。

**Q** 推進委員の基準算定は100ヘクタールに1人である。宮津市の農地1186ヘクタールの面積では12名となるが2名減らす理由は？

**A** 農業委員、推進委員、協力員と3層制をとっている。面積の多いところは協力員も多く配置されている。新制度移行に当たり、農業委員会と協議し一定の了解を得ている。

**Q** 農業委員は認定農業者を8名以上と

することが基本だが認定農業者のいない地区はどうするのか？

**A** 認定農業者は20名と少ない。8名確保できないときは、基準を緩和して適用する。

委員間討議

推進委員は上限値の12名を下回る10名で提案、農業委員会と調整済みとのことだが減らす要素はないのではありませんか。また、認定農業者が20名と少ないが、認定農業者を増やすことを考えるべきではないのか。



可決

意見書

◆ 地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

【発議者】

- 嶋田 茂雄
- 城崎 雅文
- 徳本 良孝
- 松本 隆
- 河原 末彦

【要旨】

地方議会議員は、これまで以上に住民の意向をくみとり、執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている一方で、住民の関心の低下や地方議員のなり手不足が深刻な問題となっている。

このような状況を踏まえ、地方議会の人材確保の観点から、国に対し、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう求めるもの。

全員賛成で可決した議案

議案番号	件名	結果
92	公平委員会委員の選任	同意
94	市営駐車場条例の一部改正	可決
95	市税条例の一部改正	可決
96	国民健康保険税条例の一部改正	可決
98	H28一般会計補正予算（第8号）	可決
99	H28後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
100	市長及び副市長の給与に関する条例の一部改正	可決
101	一般職員の給与に関する条例の一部改正	可決
102	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	可決
103	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	可決
104	水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の全部改正	可決
106	H28国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決
107	H28介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決
108	H28介護予防支援事業特別会計補正予算（第2号）	可決
109	H28簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決
110	H28下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決
111	H28水道事業会計補正予算（第2号）	可決
112	市道路線の一部廃止	可決

賛否の分かれた議案

○：賛成 ×：反対  
欠：欠席 退：退席

議案番号	案件・結果	議員名	蒼風会					自民党 宮津新生会			共産党 議員団			公明党		市民連合 クラブ		無 会 派
			小 林 宣 明	嶋 田 茂 雄	坂 根 栄 六	城 崎 雅 文	中 島 武 文	徳 本 良 孝	安 達 稔	谷 口 喜 弘	長 林 三 代	福 井 康 喜	宇 都 宮 綾	松 本 隆	松 浦 登 美 義	北 仲 篤	河 原 末 彦	星 野 和 彦
93	京都地方税機構規約の変更	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	—	○	○	○
97	農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	—	○	○	○
105	H28一般会計補正予算（第9号）	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	退	○	退
議6	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	—	○	○	○

※議長（松浦）は、可否同数の場合のみ可否を裁決します。 ※議6は議員が提案した議案。

【訂正】

前号（11/18発行No.85）9ページ、賛否の分かれた議案55、58、59、91、議4、議5号を全員賛成で可決した議案にも重複して掲載していました。誤りでしたので訂正いたします。

議員研修会に  
参加しました

〔開催日〕 平成28年10月31日

〔主催〕 舞鶴市議会

〔テーマ〕

議会からの政策サイクル  
～「住民自治の根幹」としての  
議会を作用させる～

〔講師〕

山梨学院大学法学部教授  
大学院社会科学部研究科長 江藤 俊昭 氏



「議会報告会」に  
関して、従来の地区  
毎の開催ではなく、  
テーマを決めて関係  
団体との意見交換会、  
議会が住民の意見を  
定期的に政策に反映  
させるサイクル組成、  
また、会派視察の報  
告会の開催等、全国  
の具体例で新たな議  
会活性化の手法を説  
明されました。

平成28年 行政視察受け入れ状況

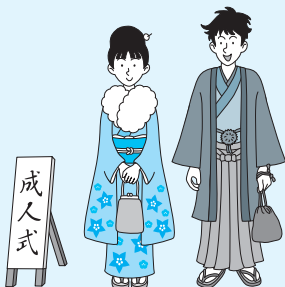
視察日	視 察 者	人数	調 査 事 項
4月21日	山口県防府市議会 (環境経済委員会)	8	観光プラットフォーム支援事業について
5月10日	北海道余市町議会 (総務文教委員会)	8	防災対策について
5月11日	千葉県香取市議会 (香友会)	3	観光プラットフォーム支援事業について
7月14日	岩手県一関市議会 (関新会)	4	健康づくり運動推進事業について
8月18日	岐阜県関市議会 (総務厚生委員会)	9	「暮らしのかけ橋」事業の立ち上げ及び実施について
10月12日	富山県砺波市議会 (自民党砺波市議会 議員会3期)	2	定住促進に向けた取組及び定住支援空き家等改修事業について 議会改革の取組について 議会基本条例の制定及び議会の活性化について
10月14日	大阪府島本町議会 (総務建設水道常任委員会)	7	放置竹林について バイオマスエネルギー事業について
10月26日	茨城県土浦市議会 (明政会)	5	まちなか観光推進事業について
11月9日	茨城県常陸大宮市議会 (経済建設常任委員会)	8	竹資源有効活用プロジェクトについて
計	9団体	54	

表紙

成人式

1月8日、宮津会館で成人式典が開催され、150人の新成人が出席されました。式典では、新成人の中学校等の恩師からのメッセージビデオの上映や新成人代表の中嶋勇太さん(獅子)からの答辞が行われました。

成人式典関連行事として、旧三上家住宅では、新成人写真撮影サービス(その場で写真プリントし、無料で進呈)が行われました。



# 議 会 報 告 会

11月4日から15日にかけて、市内6会場で議会報告会を開催しました。

今回は、宮津駅・江尻公会堂・宮本会館で初めて開催しました。

報告会では次のような意見をいただきました。

- 子育て施設と図書館の宮津阪急ビルへの移設について、今後の進捗を市民に周知してほしい。
- 宮津市の地域全体で滞在時間や観光消費額が増えるような施策を考えてほしい。
- 鳥獣被害についての対策をしっかりと行ってほしい。
- 通学等の安全を守るためにも防犯カメラの設置を検討してほしい。
- 福祉人材不足の解消に向けて取り組んでほしい。
- 熊を捕獲するための檻を増やしてほしい。
- 防災無線が聞こえにくいため、対策をしっかりと行ってほしい。
- 給食センターについて、給食の配達や配膳のシステムまでしっかりと対応できるよう丁寧で細やかな体制をとってほしい。



宮津駅多目的ホール



江尻公会堂



宮本会館

## 班編成

班	班 員				
1班	◎星野 和彦	○福井 康喜	北仲 篤		
	安達 稔	嶋田 茂雄			
2班	◎中島 武文	○長林 三代	松本 隆		
	河原 末彦	徳本 良孝			
3班	◎城崎 雅文	○宇都宮 綾	松浦登美義		
	谷口 喜弘	小林 宣明	坂根 栄六		

◎班長 ○副班長

## 今回の開催日・場所・参加人数

開催日	場 所	参加人数
11月 4日	上宮津地区公民館 (1班)	17人
	日置地区公民館 (3班)	15人
11月10日	栗田区民センター (2班)	13人
11月14日	宮津駅多目的ルーム (1班)	11人
	江尻公会堂 (3班)	18人
11月15日	宮本会館 (2班)	8人
計	6会場	82人

# 常任委員会視察報告

静岡県熱海市

「シティ  
プロモーション」

**【目的】** 効果的な広報手段を学ぶことで、本市の観光施策に活かす。

**【内容】** 市役所各部署で横断しメディアリストを構築し、旬な情報を首都圏メディアに定期的に情報発信することに加え、JTBに観光ブランドプロモーションを委託し、それまでバラバラだったプロモーションを統一した。また、「ADさんいらっしやい」のロケ誘致により、メディア露出が増えたことにより、宿泊数が格段に伸びた。

**【成果等】** ロケ誘致等を行い効果的にメディアに露出することで観光客増に繋がった。

静岡県袋井市

「学校給食の  
センター化」

**【目的】** 学校給食のセンター化先進地を視察し、本市の学校給食に活かす。

**【内容】** 新設された中部学校給食センターは、①安全・安心・おいしさへのこだわり ②地場産物の活用を促進 ③積極的な食育を推進 ④災害時に備えた炊出し対応の4つのコンセプトに基づき建設された。生野菜等を洗浄する専用ラインや手作り準備室、アレルギー対応室が設けられている。また、非常用電源を備えている。

**【成果等】** 手作り給食や地産地消を推進するには、行政が主体となり取り組み姿勢が重要である。

静岡県沼津市

「地震・津波対策アクションプログラム／消防団と自主防災」

**【目的】** 当委員会が所管事務調査として取り組む、消防団と自主防災について学び、本市の防災に活かす。

**【内容】** 消防団員の確保では、消防団員の任命資格に「市内に通学する学生」を追加されている。自主防災では、防災指導員や自主防災会を設置し、住民が主体となり避難行動計画を検討されている。また、地震・津波アクションプログラムでは、5つの柱と94のアクションを計画し実行されている。

**【成果等】** 防災について住民間でコミュニケーションをとることが大切である。



沼津市



袋井市の学校給食



熱海市

## 行政視察とは

議員が他自治体等の先進的な取り組みをしている地域へ向かい、その地域の行政・経済・文化等の実情を直接把握することです。

議会の活動には、議案の是非を検討し、その可否を決するだけでなく、行政の施策等について提言し、市民の利益のためにその実現を図る積極的な姿勢が求められています。

地方分権に伴い、議会が担う役割はますます重要性を増し、議会の審議が高度化、複雑化する中で、行政の適正な運営を確保するためには、議員の高度で専門的な見識が必要とされており、議員活動をすすめるうえで必要かつ有益であるため実施しています。



産業建設福祉  
11月16～18日

# 先進地に学ぶ！

徳島県鳴門市  
「鳴門市版ネウボラ」

**【目的】** 子育て世代包括支援センターの取り組みのさらなる向上を図るため、鳴門市の取り組みを学び本市の支援施策の参考にする。

**【内容】** 支援センターの基本は ①妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援 ②ワンストップ相談窓口で必要なサービスを支援する ③関係機関とネットワークを構築することである。「ママサポート119番」やヘルパー、デイ等の利用で支援する。

**【成果等】** 本市の支援センターをよりPRするとともに、産前産後の支援を細やかにすることで、虐待等を未然に防ぎ母子を守ることにつながる。

香川県高松市  
「伝統的ものづくり支援事業」

**【目的】** 本市の魅力発信し続けるため、文化・スポーツ・ものづくり等を産業として世界に発信している取り組みを学ぶ。

**【内容】** ものづくり振興施策を推進し、伝統文化の継承や創造性豊かなまちづくりに寄与することを目的に条例を制定した盆栽や漆器等文化や生活様式に結びつくものを対象とし、市民や市、事業者等の果たす役割を明文化し支援している。

**【成果等】** 文化の普及等を図り人づくりをすることはまちづくりにつながる。従って宮津焼きや藤織りの伝統文化を継承することは市の発展に大きく貢献する。

徳島県三好市  
「有害鳥獣対策」

**【目的】** 農業の高齢化等により有害鳥獣被害が拡大している。所管事務調査として現状と課題の聞き取りをし、その対策を模索するうえで先進的な取り組みを学ぶ。

**【内容】** 耕作放棄地の拡大でイノシシ等が人里に近づき、さらに農地離れが進む。臨時職員2名を雇用し直営班として捕獲追い払いを基本に防除をしている。サルの追い払いにモンキードッグを使い住民の意識・行動の向上につなげている。

**【成果等】** 地域も猟友会も高齢化で苦勞している点は本市と同じだが、そこをカバーするのが直営班である。モンキードッグは補助的なもので住民と一緒に追い払うことが有効である。



三好市



高松市の伝統工芸品



鳴門市



## 視察報告会

開催日：平成28年12月26日(月)

場 所：議場

各常任委員会が視察を行った先進地の事例について、市民と理事者、職員を交え、報告会を開催しました。

# 11名の議員が一般質問

# 市政を問う

宮津市議会ホームページで録画配信をご覧ください。

◇答弁者は、下記のとおり略称を使用しています。

理事…理事兼企画部長 福祉部長…健康福祉部長  
産業部長…産業経済部長

**質問** 「北前船寄港地日本遺産」への登録の動きにどう対応していくのか。  
**理事** 日本遺産登録にふさわしい地となるように、市民意識の醸成や旧三上家と

## 北前船寄港地を活用したまちづくり

由良地区の歴史を学ぶツアー等、さまざまな取り組みを支援していく。

**質問** 若者の定住条件とされている「安定した収入のある働き口」がどういう状況にあるのか現状認識と今後の取り組み、また定住戦略会議提言の雇用支援制度やUターン奨学金制度の検討状況を伺う。  
**理事** 昨今求人情報は増加していると聞

いているが、多くの産業で雇用のミスマッチが生じている。当市は、「みやびビジョン」や「総合戦略」に基づき、観光を基軸とした産業振興に取り組み、企業誘致等による働く場の確保に努めている。  
雇用支援制度は、総合戦略で検討課題として上げている。Uターン奨学金制度は、国の制度との整合を図りながら市独自の施策が必要かどうかも含め検討する。



市民連合クラブ  
河原末彦議員

## 一 括

### 若者定住促進対策を問う

## 一 問 一 答

### 由良オリーブ事業の成功と地域おこし協力隊の充実



無会派  
星野和彦議員

**質問** 国内産オリーブ市場の約95%は108年の歴史を誇る香川県小豆島で、近年は全国の各市町が入っている。中でも広島県江田島市は、当市とおおむね同じ行政規模で、市・オリーブ振興協議会・企業・地域おこし協力隊の役割を明確化し、時間・場所・機会と人・物・金をそろえる戦略と戦術で順調に事業を遂行している。当市のオリーブ事業に関する①広域連携の構築②組織体制③事業計画を問う。  
**産業部長** ①今春提

携した日伊文化交流協会(以下日伊協)の栽培技術を習得し、当市が発信する過程で、産地間競争も念頭に検討する。②日伊協と共同で事業全体をマネジメントする民間組織を本年度内に設置する。③平成31年度までに1万本植樹し、成木になる平成43年度までの収穫と売上高を算出済み。粗利益を加えた詳細な事業計画を今後作成する。  
**質問** オリーブ事業開始時より知識と経験を積んできた地域おこし協力隊員が来春に任期満了する。事業推進に不可欠な隊員の処遇を問う。  
**産業部長** 本人と協議し、改めて事業参加できる環境整備等対応を検討中。

一問一答

将来にわたり  
市民のためになる図書館を



蒼風会  
城崎雅文議員

**質問** 地方の公共図書館には、利用者のニーズの多様化やインターネットでの定額読み放題サービス等の登場による、一般的な図書館の相対的価値低下や図書館に対する財源不足という課題があると思うが、市の所見は。

色を活かした図書館を目指すべきと考える。例えば、観光産業やオリープ事業等への宮津市独自のビジネス支援。また、

ワイン講座や日本酒講座、料理教室などの市民講座の開催。子どもたちが、地域の産業や資源について学べる、人材育成の場の提供など。地域課題解決型図書館を宮津市民自らの手で運営していくことが大事だと考える。

**教育次長** 図書館を取り巻く環境変化により、図書館が果たす役割も大きく変化してきていると認識している。また、図書館経費の財源はほぼ一般財源である。**質問** こういった課題の中で、今般、ミップルに移転される図書館は宮津市の特色を活かした図書館を目指すべきと考える。例えば、観光産業やオリープ事業等への宮津市独自のビジネス支援。また、ワイン講座や日本酒講座、料理教室などの市民講座の開催。子どもたちが、地域の産業や資源について学べる、人材育成の場の提供など。地域課題解決型図書館を宮津市民自らの手で運営していくことが大事だと考える。

**質問** 市庁舎管理規則

市庁舎内での営業行為や販売行為は原則禁止もしくは許可が必要と認識しているが、実態はどうか。**総務部長** 原則的に庁舎内での営業行為は禁止しているが、福利厚生等の観点から許可しているものもある。

市庁舎管理規則とは

**質問** 市長の予算の編成・事業執行は地方自治法等で「専権事項」とされている。しかし事業執行の経過報告を含め説明する責任は。**総務部長** 予算審査



自民党宮津新生会  
徳本良孝議員

一問一答

市長の予算編成権と  
事業実施に係る経過等の説明は

時に十分説明をしている。事業執行状況も一定説明しているが今後より丁寧な報告説明を行う。**質問** 議員が予算を伴う条例を提案することも出来るかと考える。

**市長** 議会から発展的な条例提案をされることは大歓迎である。

**質問** 庁舎内での営業行為や販売行為は原則禁止もしくは許可が必要と認識しているが、実態はどうか。**総務部長** 原則的に庁舎内での営業行為は禁止しているが、福利厚生等の観点から許可しているものもある。

**質問** 市庁舎管理規則

市庁舎内での営業行為や販売行為は原則禁止もしくは許可が必要と認識しているが、実態はどうか。**総務部長** 原則的に庁舎内での営業行為は禁止しているが、福利厚生等の観点から許可しているものもある。

一問一答

労働者の長時間労働をなくし  
働きやすい環境を



日本共産党  
福井康喜議員

**教育次長** 4項目以外に残業を命じることはできない。**質問** クラブ指導は朝夕行い、帰りは夜の8時を過ぎる実態がある。こんな働き方では生徒に良い教育ができない。心身ともに健康な状態を作ることを要望する。労働環境衛生法の実施状況は。

**教育次長** 衛生推進者を置いているが、勤務実態を鑑み、教員の健康管理の面で産業医を検討している。

**質問** 教職員は自由な休憩ができない。職員の休憩室が必要では。**教育次長** 休憩室は2校のみだが、それ以外の学校は更衣室にソファを置くなどして対応している。

一括

宮津阪急ビル内の図書館と  
コミュニティスペースの機能充実を



公明党  
松本隆議員

**質問** 宮津阪急ビル（ミツプル）内の図書館整備とともに①ビジネスサービスの提供②近隣市町や他府県の方への貸出機能の拡大③コミュニティスペースの有効利用として、喫茶・軽食コーナーの設置や写真・美術品等の展示場機能充実の考えは。

**教育長** ①商業施設や子育て・教育・保健に関わる行政フロアとの複合施設内に立地する特色を活かした図書館機能を検討する。②蔵書管理の視点と勘案し、近隣市町と広域貸出の取り組みの協議・検討を進める。③一定の条件の中で飲み物を認めるとともに、ゆつたりと読書を楽しんでいただける空間を創出する。また、ギャラリーも図書館の企画と連携した展示スペースとして、引き続き機能を残していく。

少子化対策を問う

**質問** 担当部署を明確化するべきでは。また、結婚支援策は。

**理事** 相談しやすい窓口体制の在り方を検討する。市民が関

わる婚活イベント活動等を更に支援する。

一問一答

空き家対策の解決に向けて  
どのように取り組んでいくのか



市民連合クラブ  
北仲篤議員

**質問** 空き家の実態は。

**建設部長** 平成25年度の調査では住宅総数1万5500戸のうち空き家数は、2760戸。平成20年度からの5年間で630戸増加している。昨年5月の「空家特措法」の施行後、自治会等から20軒の老朽空き家の情報提供がある。

**質問** 取り組み状況は。

**建設部長** 空き家等情報バンクシステムや定住支援空き家等改修補助制度等により、空き家の活用に取り組んでいる。老朽危険空き家等は所有者に適正な管理を

お願いしているが、約半数は連絡が取れず、対応が完了したのは1件である。

**質問** 理由は何か。

**建設部長** 最大の理由は所有者と連絡が取れないこと。他に相続人の増加、除却・改修費用の負担の問題等がある。

**質問** 空き家の適正管理は所有者の責務とは言え、地域住民等にとつては安心・安全や景観の観点から早急に解決すべき行政課題であることも事実。解決に向けての見通しは。

**建設部長** 3月に空き家等対策計画の策定と条例制定を目指す。取り組んでいる。所有者・地域・行政が一体となり総合的な空き家対策に取り組むべきと考えている。

一問一答

宮津市の水産業の振興を



蒼風会  
中島武文議員

**質問** 宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略で育成水産物の出荷を平成26年度1810万円から平成31年度には3600万円にするとされている。今後の育成水産物の方針は。

**産業部長** 育成とり貝、育成岩がき、育成アサリのほか、アカモクの海面養殖、乾燥加工で高付加価値商品となるナマコの天然採苗、築磯整備による育成推進に取り組んでいく。

**質問** 獲る漁業への支援は。

**産業部長** 種苗放流や藻場造成等による資源確保や漁獲制限

等で資源を維持しながら利用する資源管理型漁業の推進、魚を集めて漁獲高を向上させるための漁礁設置の取り組みへの支援のほか、浜売り、定置網体験、食事処の整備など観光関係団体などと連携しながら観光誘客と連動した販売拡大や6次産業化による付加価値向上等の取り組みを支援し振興を図りたい。

**質問** 宮津の魚買ひ処、食べ処マップ等の資料を作つては。

**産業部長** 求められるニーズにあつた情報の内容や提供方法を、宮津農水商工観光連携会議や海の京都DMOなどの関係機関と検討していきたいと考えている。

資源確保や漁獲制限

一問一答

図書館の移転には、市民への説明と意見などを聞くべきだ



日本共産党  
宇都宮綾議員

ている現状だ。今からでも市民に説明し、広く意見を聞くべきだ。また運営主体はどこか。

**教育次長** 場所が決定した。運営・サービスはこれから検討する。今後は図書館協議会で方針審議してもらおう。運営主体は直営で行うが、将来的には検討する。

**質問** 市民は図書館移転が知らないうちに決定されたことに、心配や怒りの声をあげている。危機を覚えた市民が独自にアンケートを取り、その声を市に申し入れ

社会福祉協議会の要望実現

**質問** 市は社協へ会費の140%補助をしているが、人口減で会費が減り、連動して補助金も減少し財政が厳しい。さらに、地域福祉事業は、ニーズの増加で職員不足の状況だ。福祉充実のために会費補助の増額や職員増の人員費支援、老朽化

の建物などの要望をどう考えているか。  
**福祉部長** 今年度は、補助金の増額の要望に加え、建物移転の要望もあった。現状を踏まえ補助金の見直しや移転を、今後検討する。

一問一答

障がい者差別解消に向けて、「みんなの学校」の上映会と講演会を



蒼風会  
坂根栄六議員

て、一人ひとりの居場所づくりをしている大阪の大空小学校を舞台にしたドキュメンタリー映画「みんなの学校」がある。この「みんなの学校」の上映会や出演者の校長先生の講演会をあわせて実施しては

**質問** 障がいのない児童が、障がいのない児童を理解し、どういった言動をとればいいのかを児童自らが考えることで、やがて中学校や高校社会に出た時に、障がい者に対する理解のある人が増えた社会となり、障がい者差別解消にもつながるのでないか。そこで、障がいのある児童とない児童が全

ての学校生活の中で一緒に過ごし、教員・児童・地域の人が一



「みんなの学校」(C)関西テレビ放送

一問一答

センター給食は保護者等が納得するまで協議してから始めるべきだ



日本共産党  
長林三代議員

記されていないが。  
**教育次長** 除去して量不足なら今も代替食を提供している。栄養やカロリーが十分なら代替食はしない。

**質問** 小中学校給食が民設民営のセンター方式で20年契約されようとしている。公平公正な公募が当たり前だ。造成費補助を受けたハーベスト(株)は当然失格だ。

**教育次長** 補助を受けなければ外すとは募集要項に書いていない。  
**質問** 要項ではアレルギー除去食の記載のみで、代替食が明示される業者を選定する。

中の茶屋に光ファイバーの整備を

**質問** 本市では中の茶屋地区だけインターネットも携帯もつながらない。市民の利便性を第一に、5千万円を市が負担し

早急な対応をするべきだ。  
**理事** 民間が整備する地域であり引き続き強く要請する。

# オイルの生産・販売を開始!

## 平成28年10月にオリーブオイル初搾り オリーブ事業のこれまでを振り返る

### 1 オリーブオイルの国内市場

オリーブオイルは、風味と健康面から国内需要が増加し、現在の年間消費量は約5万トンとされていますが、9割以上はスペイン・イタリア産です。

小豆島では約100年前から生産されていますが、国内産はわずか0・05%のシェアに留まり、有望な市場であること、栽培管理が容易なこと、鳥獣の被害が少ないこと等の理由から、近年、全国各地で新規参入が相次ぎ、生産が拡大しています。

### 2 宮津市のオリーブ事業の経緯

平成25年

総務省モデル事業の採択

平成26年3月

由良・府中・世屋でオリーブ

300本の実証実験を開始

平成27年9月

日伊文化交流協会の会長が当市で生育状況を確認。産業化は可能と評価され、本格的に栽培を推進

平成28年3月

日伊文化交流協会と連携協定を締結、栽培や加工技術の向上等の協業開始

### 3 由良オリーブを育てる会の概要

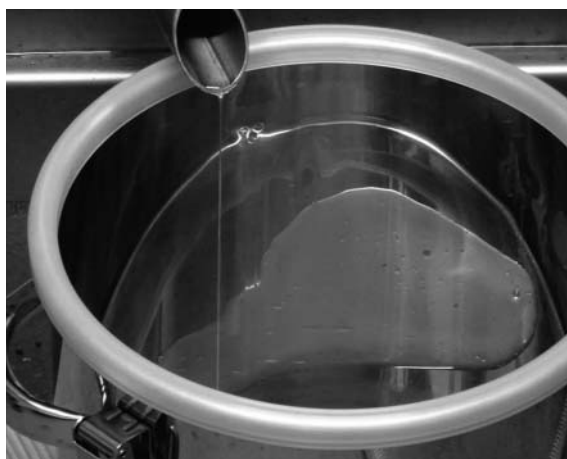
平成25年10月に設立され、現在16名の会員と2名の地域おこし協力隊が約800本のオリーブの栽培・管理に取り組み、資金・労働力・栽培技術の不足などの問題を乗り切り、「オリーブ茶」や「新漬け」の商品化と販売、毎年秋に由良オリーブ祭を開催しています。

そして、平成28年10月にはオリーブオイルの生産・販売が始まりました。

本年度のオリーブの収穫量は760キログラム、オイルの搾油量は42リットルです。



平成28年オリーブ祭



オリーブオイルの初搾り

議員が  
おじゃま  
しました!

# オリーブ事業に進展 京都宮津オリーブ



由良に広がるオリーブの木

「京都宮津のオリーブを成功させたい」  
由良オリーブを育てる会 藤本会長の抱負

## 4 宮津市オリーブ事業の今後

オリーブオイルの中で最高級と言われる「エキストラ・バージン・オイル」を量産すること、25ヘクタールの耕地面積（現在1・8ヘクタール）をもって、平成31年度に1万本を植樹し、平成36年度は約60トンの収穫量、1万本すべてが成木になる平成43年度は約100トンの収穫量を目指しています。

## 5 由良オリーブを育てる会

### 藤本徳雄 会長の抱負



オリーブ栽培の利点は、オリーブオイルの国内需要の伸び、生命力が強く樹齢が長いこと、栽培地毎にオイルの味が違うこと、景観が良くなること等です。

弱点としては、必ず加工しなければならぬこと、収穫からすぐに劣化が進むこと、成木になるまでに7、10年かかること、収穫時期がみかん・柿のシーズンと重なることだと考えています。

昨年10月に行った「オリーブ祭」は予想を超える来客数で、商品の問い合わせも徐々に増えてきています。

また、マスコミでも取り上げられ、地域に浸透してきていると感じています。

多くの課題が山積していますが、会員の力を合わせ、必ず、「京都宮津のオリーブ」を成功させ、この地の特産品とし、宮津が元気な町になるよう頑張っていきたいと思っています。

皆様の絶大なるご支援とご協力をお願いしますとともに、今後とも由良オリーブを育てる会をよろしく願います。



京都宮津オリーブオイル



商品のラインナップ

# ひとこと



宮津女声合唱団

平成28年の市民文化祭で、宮津文化協会より「宮津文化賞」をいただき、身に余る光栄と皆で喜びを分かち合いました。思い起こすと、「宮津に混声合唱団はあるのに女声がない。私たちがつくろう。」と昭和52年秋に宮津女声合唱団が誕生しました。以来40年間、指揮者、ピアノ伴奏、ボイスリーダー等の先生方に御指導をいただき、ひたすら歌い、美しいハーモニーを生み出すことに努力しました。

また、15周年記念コンサート以来、35周年まで5年ごとにコンサートを開き、今40周年記念コンサートの準備にかかっています。その他、毎年の府下お母さん合唱祭、和火等行事への参加、国体、国民文化祭への参加や協力等も積極的に行ってきました。現在団員は21名、年齢の幅も広くなりましたが、とにかく皆歌うことが好き、楽しく仲良く歌っています。さあ、次は平成30年の40周年記念コンサートです。当日にはどうか皆様ホールまでお出かけくださいますようお願いいたします。そして、合唱のお好きな方、ぜひ一緒に歌いましょう！お待ちしております。

大橋 清子さん（万町）記

## 3月定例会の日程(会期2月28日～3月30日)

2月22日(水) 請願締切(正午まで)	3月16日(木) 議会運営委員会
23日(木) 議会運営委員会	17日(金) 本会議(補正等採決)、予算決算委員会分科会
28日(火) 本会議(提案理由説明等)	21日(火) 予算決算委員会分科会
3月 7日(火) 本会議(一般質問)	22日(水) 予算決算委員会分科会
8日(水) 本会議(一般質問)	23日(木) 予算決算委員会分科会(予備日)
9日(木) 本会議(質疑～委員会付託)	27日(月) 予算決算委員会(当初予算)
10日(金) 所管別常任委員会・予算決算委員会分科会	28日(火) 議会運営委員会
13日(月) 予算決算委員会分科会(予備日)	30日(木) 本会議(当初予算等採決)
15日(水) 予算決算委員会(補正)	

※開議時刻10:00(3/15、23、27、30は13:30～)・この日程は予定であり、変更となる場合があります。



議会情報化委員会

委員長 谷口 喜弘	副委員長 星野 和彦
委員 福井 康喜	委員 松本 隆
委員 北仲 篤	委員 中島 武文

編集後記  
平成29年を迎え市民の皆様のご健康とご多幸をお祈りします。昨年は「議会だより」全面リニューアルをいたしましたところ、多くの御意見をいただき、身が引き締まる思いです。今年も、議会の情報や採決経過等わかりやすく、また、特集記事や市民の方々のご紹介など、議会を身近に感じていただけるような情報発信に努めてまいります。本年もご拝読よろしく申し上げます。(谷口)